

seawise の船舶データプラットフォーム、三井 E&S「FALCONs」との連携を開始。 神原汽船「PROACTIVE EARTH」へのサービス提供でデータ連携を実現

- seawise の船舶データプラットフォームが、三井 E&S が提供する船体汚損管理サービス FALCONs との連携を開始
- 神原汽船が運航するコンテナ船「PROACTIVE EARTH」への FALCONs サービスの提供にあたり、データ提供を seawise が担当
- データプラットフォーム内に保管されている本船の Noon Report や IoT センサデータを API 経由で FALCONs のサービス基盤に提供することを実現

seawise 株式会社（本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、株式会社三井 E&S（本社：東京都中央区、以下「三井 E&S」）が提供する船体汚損管理サービス「FALCONs」とのデータ連携を開始しました。

今回の連携は、神原汽船株式会社（本社：広島県福山市）が運航するコンテナ船「PROACTIVE EARTH」向けに三井 E&S が提供する FALCONs サービスにおいて、当社が同船のデータ提供を担当するものです。

当社データプラットフォームに蓄積されている「PROACTIVE EARTH」の Noon Report（航海日報データ）や機関・航海系の IoT センサデータを、API を含む当社サービス基盤を通じて FALCONs のサービス基盤へ安全かつ円滑に提供する仕組みを構築しました。これにより、FALCONs は解析に必要な本船の実海域での運航データを自動取得することが可能となり、船体管理の高度化および運航最適化に寄与します。

当社は今後も、データプラットフォーム上の連携サービスを増強することにより、船主・運航者の皆様の業務改善と脱炭素・省エネに向けた取り組みを支援し、海事産業の DX 推進に貢献してまいります。

■ seawise 株式会社

seawise は、株式会社 JDSC、三井物産株式会社、常石造船株式会社の 3 社が共同出資し、2022 年 11 月に設立された合弁会社です。膨大な船舶データを解釈・活用し、船主や造船所、用船社、荷主など海事事業者の課題解決を支援しています。同社が提供するデータプラ

プラットフォーム swDPF は、自社および他社開発のソフトウェアを SaaS 形式で提供するオープンなプラットフォームで、海事事業者間のコラボレーションを促進します。また、swDPF は常石造船建造船に標準搭載されている Fleet Transfer(常石ソリューションズ東京ベイ製)をはじめとするオンボードサーバーから取得したデータを可視化でき、既存の契約船を含め、200 隻以上の船舶への導入が決定しています。

本リリースに関するお問い合わせ

seawise 株式会社

pr@seawise.jp

<https://seawise.jp/>